

### 1978年モデル

中央に燃料計、電圧計、水温計を配した新たなインストルメントパネルを装備。キャブレターの口径は1mm小さくなり、2段階減衰力調整機能付きサスペンションが搭載されました。新設計されたエキゾーストシステムは、クローム仕上げとなり、リアウインカーはフェンダーに設置。メンテナンスフリーのコムスターホイールが装着されました。



1978年 GOLDWING (GL1000)

### 1979年モデル

初代ゴールドウイングの熟成は頂点に達し、999cc エンジン最後のゴールドウイングとなりました。この年に大きな変更はなく、その多くは細かなものとどまります。ウインカーが丸型から長方形に、テールランプがシングルバルブから CBX タイプのリブ入りレンズのツインバルブに変更されました。

### 1980年モデル

2代目となるゴールドウイング (GL1100) が誕生。スタンダード仕様のモデル以外に、完成時から上級装備を搭載した、インターステートが追加されました。両グレードともフルトランジスタバッテリー点火を導入した新型 1,085cc エンジンを搭載。シャシーには、シングルインレットイコライザーシステムを左右に備えたエアアシストサスペンションを装備。コムスターホイール、アジャスタブルシート、ビッグサイズのタイヤが装着されました。フルフェアリング、サドルバッグ、トランクを標準装備し、ステレオシステムまでもオプション設定としたインターステートは、長距離ツアラーの新たな指標となりました。

### 1981年モデル

スタンダードとインターステートともに、オレンジとゴールドのストライプが新たに追加されました。メーター類は夜間照明をリファイン。インターステートには、より傷がつきにくくなった最新のアジャスタブルウインドシールドが装着されるなど、引き続き上級装備を搭載した長距離ツアラーの最先端を独走するモデルとなりました。



1981年 GOLDWING (GL1100) INTERSTATE

### 1982年モデル

Hondaはこの年、より豪華な第3のゴールドウイング、アスペンケードを追加しました。インターステートには、オプションとしてステレオ、40チャンネル CB無線、エアサス用空気圧調整機構を設定。アスペンケードには、これらの装備に加えパッセンジャーバックレストの収納ポーチ、ツートーンペイントとツートーンシート、スペシャルエディションエンブレムなどがすべて標準装備となりました。また全グレードに、フロントブレーキには2ポットキャリパーを装着。タイヤの幅もワイドになりました。